

公共工事から 暴力団を排除



～市と警察署が調印～

市では、7月1日から公共工事の請負業者に暴力団などの不当介入を受けた場合の通報を義務付ける制度を導入しました。

これに先立ち、6月12日に甲賀警察署で行われた調印式では、中嶋市長と竹下署長が、合意書に署名、押印し、お互いに連携し合うことを誓いました。

この制度では、市が発注する工事に関連して、暴力団員等から不当要求や業務妨害があった場合、業者は市と警察へ通報し、捜査に協力することとなっています。また、通報を行わなかった場合には入札参加停止などの罰則が科されます。



▲ 連携を誓い合う中嶋市長と竹下甲賀署長

災害時応援協定調印式



▲ 調印式で固い握手をする藤岡支部長、中嶋市長、菊岡支部長（左から）

民間との連携で防災力を強化 （石油商業組合・電気工事工業組合と応援協定）

市はこのほど、石油類燃料の供給支援、電気設備の復旧支援について、災害時応援協定を締結しました。

6月20日には甲南庁舎で調印式が行われ、中嶋市長と滋賀県石油商業組合甲賀支部の藤岡茂喜支部長、滋賀県電気工事工業組合水口支部の菊岡敏明支部長が協定書に署名、押印しました。

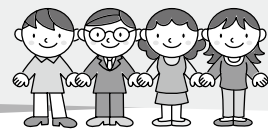
この協定により、災害時

の避難所などでの炊き出しや暖房をはじめ、救援活動に必要な石油類燃料の供給や、公共施設の電気設備の応急復旧活動を迅速に行うため、支援を要請することができるようになります。

市はこれまで、建設、ガス、水道の各組合と同様の協定を結び、万々に備えています。

学びが生きがいを 生みだすまちへ

～社会教育委員の提言を受けて～



市では、笑顔がこぼれ、市内に住む人の全てが輝く元気なまちづくりを進め、市民憲章にある「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」への実現に向けて取り組んでいます。また、総合計画にある「学びが生きがいを生みだすまちづくり」は、生涯学習によるまちづくりの核となるもので、各方面からご意見を聞かせていただいています。

本年2月には、市社会教育委員の会議から「学びの活性化とその成果を生かすために」と題した提言が提出され、「学びが生きがいを生みだすまちづくり」に向けた意見が具体的にまとめられました。

市教育委員会では、これらの提言を受け、公民館のあり方や教育人材バンクの活性化に向けてのまちづくりを進め、誰もが輝くまちづくりへ取り組むこととしています。

社会教育委員の会議では、今後もさらに検討を進め、市の社会教育のあるべき姿について提言をいただくこととなります。

社会教育委員

（敬称略・順不同）

●水口地域

小谷 茂喜 田畑 恵子
治武 俊明 糸井 豊美
池村 満

●土山地域

岩室 隆 福井千恵子

●甲賀地域

中島 教芳 川村 和代

●甲南地域

木村 清雄 藤野香寿恵
山元 俊彦、野口 恭男

●信楽地域

杉本 清和、中井れい子

問い合わせ

生涯学習課 生涯学習係

☎86-8021

FAX 86-8380